

発行：2022年1月29日

<h1>第340回 月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営委員長 西山	企画運営委員 保科

◎日時 2022年1月21日(金) 13時00分～16時30分

◎場所 リモート開催 (Zoom)

◎出席者 27名(個人会員13名、法人会員9社14名)

1. 開会挨拶 13:00～13:05 企画運営委員長 西山政則氏

新型コロナウイルス感染症の再拡大により、ハイブリッド開催は難しい状況である。

2. 年頭講演「安全確認型システムを安全の論理から見直す」**13:05～15:00 安全技術応用研究会 会長 杉本旭氏**

労災のうち死亡災害は1/20000で発生し、回避は発生前の機械を停止するしかない。安全が確認できない限り停止する安全確認型システムを、安全の理論から考える。詳細については、安応研HPで公開される録画と資料を参照のこと。

意見交換

- ・労働災害発生責任の所在、止めない安全とレジリエンス、などを討議した。
- ・本講演の安全理論について、後日、別講演において継続していく。

3. 討議テーマ「規格に則ったリスクアセスメントとは？—解説と討論—」**15:10～16:30 長岡技術科学大学教授 福田隆文氏**

メーカーのリスクアセスメントは、安全防護がない状態から開始する。国際規格に則ったリスクアセスメントを理解するため、電気洗濯機を題材にした事例から学ぶ。詳細については、安応研HPで公開される録画と資料を参照のこと。

意見交換

- ・ユーザーとの相違、運転機能と安全機能の分離、機械設計と安全設計の相違、使用制限設定、使用上の情報、危険源同定、題材選定、実施段階、などを討議した。

4. その他

- ・会員からの意見や助言を活用するため、アンケートへの協力をお願いします。
- ・次回341回月例会は、2月18日(金) 13時～16時30分にリモートで開催する。

月例会説明資料：会員専用ページに掲載

下記説明資料は2022年4月1日以降に掲載予定

資料番号	資料名
340-3-1	「規格に則ったリスクアセスメントとは？—解説と討論—」